

平成24年度中山間地域対策プロジェクトチーム会議【第4回】

日時：平成24年7月20日(金)10:00-12:00

場所：職員会館1F健康教育室

進行：勝部GL

1. あいさつ（坪内課長）＜5分＞
2. 6月議会の状況について（坪内課長、勝部GL）＜20分＞
3. 部局連携施策の検討について（内部企画員）＜30分＞
 - ・5、6月の会議、メンバーの意見等をもとに意見交換
4. 過疎ソフト交付金事業の申請状況等について（樋野主任）＜30分＞
 - ・市町村の申請状況等について
5. 郷づくりカルテ作成状況について（藤山研究企画監、内部企画員）＜20分＞
 - ・地区別データ【暫定版】の状況について
 - ・分析、診断の考え方等について
6. その他
 - ・市町村研修会（カルテ活用合同検討会）について
7月30日（月）ホテル宍道湖

【次回PT（第5回）】 8月21日（火）15:00～17:00 会議棟2F第4，5会議室

平成24年度第4回中山間地域対策プロジェクトチーム会議メンバー一覧表

日時:平成24年7月20日(金)

10:00-12:00

場所:職員会館1F健康教育室

部・局	課・室名	職名	氏名	備考
地域振興部	交通対策課	企画員	和田 守弘	
環境生活部	環境生活総務課 NPO活動推進室	企画員	栗原 誠	
健康福祉部	地域福祉課	企画員	伊藤 修	
	青少年家庭課 少子化対策推進室	主任	石倉 裕子	変更(欠席)
		主任	植田 和枝	変更(欠席)
農林水産部	農林水産総務課 政策推進スタッフ	企画幹	杉原 雅彦	
	農業経営課	GL	柏原 仁	陶山研治 企画員 今井裕作 専門農普員(農技C)
		GL	重本 聡	(欠席)
	しまねブランド推進課	GL	高田 光	(欠席)
商工労働部	中小企業課	GL	田中 麻里	
教育庁	高校教育課	課長代理	柳樂 衛	
	義務教育課	課長代理	安達 清心	
	社会教育課	社教主事	山本 一穂	(欠席)
		社教主事	西村 睦	
	隠岐支庁県民局	主任	植田 智則	
	西部県民センター	課長	畑山 経弘	河野佑美 主事
	ふるさと島根定住財団	UIターン 推進課長	日野 賢治	
	中山間地域研究センター	企画情報部長	昌子 道男	
		研究企画監	藤山 浩	
		専門研究員	有田昭一郎	
		専門研究員	安部 聖	
		研究員	藤田 容代	
		嘱託研究員	中山 義規	

事務局	しまね暮らし推進課	嘱託研究員	吉田 翔	
		嘱託研究員	空閑 睦子	
		嘱託研究員	赤池 慎吾	
		課長	坪内 清	座長
		GL	多根 純	まちづくり支援グループ
		GL	力石 利久	定住支援グループ
		GL	勝部 恵治	中山間地域支援グループ
		企画員	堀江 正信	大田市
		企画員	内部 宏	川本町、美郷町、邑南町
		企画員	宮原 竜二	隠岐郡、松江市
		企画員	板垣 貴敏	雲南市
		主任	荒木 俊輔	安来市、出雲市
		主任	川合 葉子	奥出雲町
		主任	笠松 真美	益田市、吉賀町、津和野町
		主任	田中 徹	浜田市、江津市
		主任	樋野 洋至	飯南町

中山間地域活性化計画（H24～H27）の推進方針

◎推進目標

- 4つの愛(ai)のある中山間地域の創出
 - ・子供や若者の声が聞こえるにぎわいのある中山間地域
 - ・人々が地域活動に参加して生きがいを感じながら暮らせる中山間地域
 - ・地域の資源を活用したなりわいを生み出す中山間地域
 - ・住民がお互いに助けあいながら地域を支えていく中山間地域
- 市町村と連携し、地区のコアとなる人材を養成すると共に地区住民が自らの地域を運営する【やる気】【本気】【根気】【自信】を醸成

◎推進の基本方針

- 公民館を範囲とする地域(227)を基本として地域運営を担う仕組みづくり並びに組織づくりを支援
- 上記の内、県が重点的に支援する地区を70地区程度認定
 - 【H24認定（H24～H26事業）20地区程度】
 - ・モデル地区として大いに伸びることが期待される地区を10程度
 - ・状況がより厳しい地域で支援を必要とする地区を10程度
 - 【H25認定（H25～H27事業）40地区程度】
 - ・モデル地区として大いに伸びることが期待される地区を10程度
 - ・状況がより厳しい地域で支援を必要とする地区を30程度
 - 【H26認定（H26～H27事業）10地区程度】
 - ・24年度、25年度を踏まえ認定
- 施策推進に当たっては、市町村は勿論、県部局の横断的連携を積極的に図る。

◎推進の具体的戦略

- 公民館を範囲とする地域(227)の状況を客観的に把握し、地域課題を明らかにするため「カルテ」を作成
 - ・カルテ作成に当たっては、中山間地域研究センターのデータ、ノウハウを活用
- 部局横断で構成するプロジェクトチームにより、カルテを基に分析・協議・調査を行い、市町村の意向も聞きながら、支援地区（伸ばしていく地区と状況が厳しく支援を必要とする地区）を認定
 - ・認定に際しては、カルテ分析はもとより、中山間地域研究センター研究員及びしまね暮らし推進課員を中心とする現地調査や現地ヒアリングを実施
- 施策推進は、部局横断連携して支援する。支援過程において新たな生じた課題について、H25当初予算を目途に部局横断的な事業化が可能かプロジェクトチームで検討

■中山間PTスケジュール

	しまねの郷づくりカルテ	部局連携施策	地区支援
4月	カルテ構成、分析方法の方向性確認	部局連携施策検討の方向性確認	—
5月	カルテ構成、分析方法案の検討、了承	重点項目・達成目標検討のためワークショップ実施	市町村意見交換、内部検討
6月	地区別カルテ【暫定版】（人口データ入力済）の説明、意見交換	部局連携具体案の検討	同上
7月	地区別カルテ【暫定版】（人口・暮らし条件データ入力済）の説明、意見交換	同上	H24支援地区認定案の検討
8月	地区別カルテ【H24. 7月版】の意見交換、作成完了	同上	H24支援地区（1次認定）の現地ヒアリング、地区の内定
9月	地区別カルテ【H24. 7月版】データ・分析内容の拡充、精査	同上	H24支援地区（2次認定）案の検討
10月	同上	部局連携具体案（予算要求案）検討	H24支援地区（2次認定）の現地ヒアリング、地区の内定
11月	同上	H25予算要求	地区支援の実施
12月	同上	地区支援に係る部局連携の検討	同上
1月	同上	同上	H25支援地区認定に係る市町村ヒアリング
2月	同上	同上	同上
3月	同上	同上	H25支援地区認定案の検討、決定

しまねの郷づくりカルテ（H24. 7 月版）分析診断（検討案）について

【今回の分析診断の考え方】

市町村や地区と今後の対策（地区毎の処方箋）を作成する上で、データに基づき外形的に見える部分を中心に、分析診断を実施してはどうか。

- A：「人口データ」 B：「暮らしの条件」による総合診断
AとBとを組合せ、厳しさ（評価点数）で4類型化
 - ① 緊急性グループ（AもBも厳しい）
 - ② 潜在力グループ（Aは厳しく、Bは厳しい地区でない）
 - ③ お手本グループ（Bは厳しく、Aは厳しい地区でない）
 - ④ 自立グループ（AもBも厳しい地区でない）
- C：「地区の取組状況」による診断
緊急性、必要性、モデル性等について、市町村等の意見を診断に加味
- 地区の規模による分析と診断
人口と面積を用い、地区の規模により分析、診断
⇒規模の大きい地区、規模の小さい地区と診断
- 人口構造による分析と診断（2015年危機度）
人口を比較し、55～64歳＜75～84歳の
⇒危機度が高いと診断
※入所高齢者福祉施設の設置状況について考慮が必要
- 定住必要数による診断（UIターン必要度）
2組以上／年の地区⇒次世代定住に向けてUIターン必要度が高いと診断
- レーダーチャートによる診断
⇒評価1の項目について留意が必要と診断
- 小規模高齢化集落が存在する地区
⇒地区でのサポートが必要と診断

平成 24 年度 市町村・県地域振興担当職員研修会 次第

日時：平成 24 年 7 月 30 日(月) 13:30～17:00

31 日(火) 9:00～12:00

場所：ホテル宍道湖 鳳凰の間 (松江市西線島 2-10-16)

7 月 30 日(月)

13:30 あいさつ

「地域振興にかける想い」

(島根県地域振興部長 楫野弘和)

14:00 中山間地域対策について

(県しまね暮らし推進課)

- ・中山間地域活性化計画について
- ・地域運営の仕組みづくりについて

14:40 しまねの郷づくりカルテ（地区診断カルテ）について

(1) 説明

- ・中山間地域対策におけるカルテ活用について
- ・しまねの郷づくりカルテの概要

～休憩～

(2) グループ討議（ワークショップ）

テーマ：しまねの郷づくりカルテによる地区診断から分かる定住のポイント

16:40 情報提供

- ・地域づくり外部人材候補者確保事業について (県しまね暮らし推進課)
- ・新規就農者対策における地域振興担当との連携について (県農業経営課)
- ・県政記者クラブの活用について (県広聴広報課)

17:00 事務連絡・閉会

17:30 交流会 (会場：ホテル宍道湖)

7 月 31 日(火)

09:00 講演 『地域コミュニティを「デザイン」する ～集落支援の現場から～』(仮)

講師：株式会社 studio-L 西上 ありさ 氏

《講師プロフィール》 学生時代から姫路市家島地区のまちづくりに関わり、「探られる島」プロジェクト、家島ゲストハウスプロジェクト等を展開。三井共同建設コンサルタント(株)等を経て、2005年よりコミュニティデザイナーの山崎亮氏が主宰するstudio-Lに参画、現在に至る。2010年からは海士町教育委員会で集落診断・集落支援を担当。住民参加による行政計画の策定、地域の特産品開発・ブランディング等に携わる。主な仕事に、海士町総合振興計画、土祭（ひじさい）コミュニティデザイン、笠岡諸島子ども振興計画、海士町オリジナル母子手帳づくり、穂積製材所プロジェクト、issue+design等がある。共著書に『震災のためにデザインは何が可能か』（NTT出版刊）。

10:00 質疑

10:30 地域おこし協力隊受入(予定)自治体研修

- ・地域おこし協力隊に関するアンケート結果について
- ・ワークショップ

テーマ「地域、行政、協力隊がそれぞれの段階ですべきこと」

～着任前、着任中、着任後のロードマップから～

12:00 終了

申込〆切：H24年7月20日(金)

平成24年度市町村・県地域振興担当職員研修会参加申込書

【FAX送信先 添書不要】

島根県地域振興部しまね暮らし推進課

定住支援グループ 田中あて

FAX番号：0852-22-5761

E-mail: tanaka-toru@pref.shimane.lg.jp

所 属 _____

TEL _____

FAX _____

e-mail _____

連絡担当者 _____

	職 名	ふりがな 氏 名	研修会 (7/30)	研修会 (7/31)	協力隊研修 (7/31)	交流会 (7/30)
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※希望される項目に○印をご記入ください

※宿泊については、各自で手配をお願いします。

研修会場の「ホテル宍道湖」でも宿泊可能です。

※「島根県中山間地域活性化計画(平成24年3月)」をお持ちの方はご持参ください。